

巻頭言

「SBI 大学院大学紀要 第 5 号」の刊行にあたり

学長 北尾 吉孝

SBI 大学院大学は教育研究重視の姿勢を具体的に示すために 2013 年度より専任教員を中心とした執筆陣の研究論文集である「紀要」を刊行しています。本号はその第 5 号(2017 年度版)です。第 3 号からは、本学修了生の諸論文も掲載し、更に第 4 号からは年度ごとの統一テーマを設定することとしました。昨年度の統一テーマには「フィンテック」を掲げ、今年度は「アントレプレナーシップ」といたしました。

経営者が「アントレプレナーシップ」(起業家精神)を十分に発揮するためには、正しい倫理的価値観と高い志を持つことが肝要です。企業経営が人間の営みの一部である以上、経営者の倫理的価値観が経営方針、経営戦略、企業の将来性など様々な点において、最も大きな影響を及ぼすこととなります。『論語』に「不義にして富み且つ貴きは浮雲の如し」(道に背いてまで財産や地位を手に入れることは、はかなく取るに足らないことだ。)という言葉がありますが、企業活動とは、正しい倫理的価値観のもと、正しい仕事を正しい方法で成し遂げることであり、利得とはその結果として得られるものなのです。また高い「志」を持つことも大切です。「志」とは、公のために生きることであり、基本的に“利他的”なものです。世のため人のために生きるからこそ、その志が公正に評価され引き継がれていくのです。『論語』の「徳は孤ならず、必ず隣あり」という言葉の通り、徳の高い人は決して孤独ではなく、その周りには志を同じくし、徳の高い人材が集まってくるものです。このように経営者の正しい倫理的価値観と、広く経済・社会に貢献しようとする高い志があつてこそ、企業は社会の中で存続していけるのです。

本号では「アントレプレナーシップ」という統一テーマのもと、国内外の実践的な事例に基づく考察やアントレプレナーの行動特性、アントレプレナーシップを育む教育など多岐にわたる観点で執筆された論文を収載しています。

経営専門職大学院である本学は 2008 年 4 月の開校以来、9 年半が経過し、修了生の数も累計で 154 名に達しました。本学の特徴はインターネットを活用した教育システムであること、経営学などの「実学」と並び、上記したような経営者の資質を磨くことを主眼とした「人間学」を学ぶ機会を提供していること、それらに加えて「アントレプレナー」(起業家)の育成を重視していること、の 3 つに要約でき、これらが他の経営系専門職大学院・ビジネススクールと比べた大きな優位性を本学に与えています。そして本学は「実践」を旨とする大学院であり、本学を巣立ち全国各地で活躍中の修了生も、アントレプレナーシップをいかに発揮していることでしょう。

本紀要に収載している論文は、本学で教鞭をとる多様なキャリア・専門性を持つ教授陣や、幅

巻頭言

広い分野で活躍している修了生たちによる日々の研究や活動の成果として発信するものであり、本学の特徴の一端を示しております。本紀要は本学の研究・教育活動の重要な一環であり、本学の研究力と教育力の水準向上のために、来年度以降も紀要を刊行して行く所存です。

最後に、本紀要が本学外の多くの人々にも広く供覧され、そのお役に立てればと願う次第であります。

2017年11月